

主に心を明け渡す



「ローマ12：1 ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。」

私は神のものとされた

私たちは、主のあわれみによって、罪の支配から救われました。それまでの私たちは、神様を知らませんでしたので、「私のからだは、生活は、自分のものだから、自分の好きなようにしていい」と思っていました。良い生活習慣を持ちたいと願いながら、欲のおもむくままに、テレビやゲーム、遊びなどで夜ふかしをして体調を悪くしてしまったり、食べ過ぎてしまって病気になってしまったり、お金を自分の使いたいように使ってコントロールが効かなくなってしまったという人もおられると思います。仕事や人間関係で上手くいかないことで思い悩む時に、「こんなみじめな私はかわいそう。誰も私のこの大変さはわかってはくれない、もう自分なんかどうなったっていいや。」と生きることに気力が持てなかったという方もおられると思います。

しかし、そんなところから私たちは救われました。主がご自分の御子を差し出して、十字架につけて血を流してくださるほどの

犠牲を払ってくださいました。その十字架の血が代価であって、神がその代価を払ってくださったがゆえに、私たちは救われました。つまり、「私は神のものとされた」ということです。

明け渡したいと願うようになる

そのことを知った私たちは、「もはや自分のからだは、生活は、自分のものではない、だから主にささげたい、心を明け渡したい」と願うようになりました。「これまでは、自分中心で生きてきましたが、これからは、神様のために仕えて行きたいと思えます。」と願うように変えられました。「主に心を明け渡す」ということは、自分のものであったものを手放して、神様の手にすべてを渡して服従する姿勢のことです。「私の持っているもの、生活は、あなたのものですから、全部あなたにささげます。あなたの使いたいように、したいようにして下さって一向にかまいません。」という信仰の告白です。

主に心を明け渡すと、「神様のために時間を使いたい」と願うようになります。自分のために使うと、自分の欲に負けてしまい、テレビやゲーム、スマホなどに夢中になってしまい、時間を浪費してしまうだけで終わってしまいがちですが、「仕事よりも神様を第一にしよう」と思うので、「日曜日は、神様を礼拝する日なので、この日を主にささげて、仕事の予定は一切入れないようにしよう」と思って、家族や兄弟姉妹と過ごす時間にあてたりしま

す。また、お金も、神のために、家族のために、人のために使いたいと願うようになります。十分の一献金も、ささげないといけないからするのではなくて、「私の収入はすべて神様が与えてくださるもの、主が満たしてくださるものなので、喜んでささげます。あなたのために自由にお使いください。」と、自然にささげたいと願うように変えられて行きます。

手放せないものはないだろうか

しかし、私たちが主に心を明け渡そうとする時、心のうちに手放せないものがあると、それが出来なくなります。例えばその一つとして「恐れ」があります。「主に心を明け渡したら、何か大変なことになるのではないか」といった恐れです。

私は、献身の道に導かれた時、「この先、自分の生活はどうなるのだろうか。このまま進んで行っていいのだろうか。」という恐れがありました。心の葛藤^{かっとう}を覚えつつ、自分が置かれている環境を嫌がっては、不平不満を持ちつつ過ごしていました。しかしその中で、「こんなことを続けてはいけけない」と示された時、主に降参して明け渡すところへ導かれました。「神様、私は今まであなたのされることに反抗していました。降参して悔い改めます。これからは、あなたの言われることに従います。あなたのなさりたいようになさってください。どこに向かって行こうとも、あなたの言われることに従います。私はこの場所であなたに

喜んで仕えて行きます。」と決意をして心の向きが変えられてから、心に平安が訪れました。そして、「私のうちにある恐れの問題の解決も、あなたがなされることですので、もし恐れの問題が一生続いたとしても、それで一向にかまいません。あなたがなされることですので、私はそれを喜んで受け取ります。」と主に明け渡すことができました。

明け渡す人は百倍を受ける

私たちは、主に自分自身を明け渡して従って行く道を選ぶのか、それとも、家族や友達、仕事や勉強、お金、この世の楽しみを選ぶのか、どちらかを選び、どちらかを捨てなくてはなりません。イエス様は、「わたしのために、自分の持っているものを捨てる人は、今この世で百倍を受ける」と約束されました。主のみことばに信頼します。「この方に信頼する者は、だれも失望させられることがない。(ローマ10：11)」と信じます。すべてを捨てて主に従うその先に、捨てたものがいく倍にもなって返ってくるという主の豊かな祝福にあずかることができると信じます。まず、心を主に明け渡しましょう。明け渡してはじめて、みこころが分かりますし、何が神に喜ばれることなのかを知って、主の働きのために用いられる器として整えられ、主の御用、働きを成して行くことができると信じます。(岩下 栄作)